



※旅リハとは？ 障がいと向き合いながら、環境を限定しない活動行為の獲得や、活動範囲の拡大、自立した社会参加へ繋げていくことを目的としたツアー旅行

## 3月17日(日) 第5回旅リハ参加者募集中! 「うどん県(香川)でうどん打ち体験と琴平散策バスツアー」

### 旅リハのしくみ

#### 日頃の訓練の効果確認・「できる」の確認と強化

- ・新しい目標の設定
- ・ピアグループの形成
- ・「できる」ことの実感
- ・課題の発見



- ・自宅から集合場所までの移動
- ・バスへの乗降、長時間の座位保持
- ・健康管理と変化の訴え
- ・移動、トイレ、食事などの生活行為
- ・参加者との協調性

#### 創心會 介護保険サービス ご利用者様

- ・デイサービスでの機能訓練
- ・訪問でのリハビリテーション

創心會では、日頃のリハビリの成果を確認するためや、リハビリプランを立てるのに必要な日常生活での課題点を見つけるため、そして、目標に向かって前向きにリハビリに取り組んで頂くために「旅リハ」という企画を定期的に開催しています。詳細はお問合せ下さい。

### 第5回旅リハ うどん県(香川)でうどん打ち体験と琴平散策バスツアー

- 開催日：平成25年3月17日
  - 参加費用：お一人様 8,500円
  - 申込締切り：平成25年2月28日
- お問合せは 株式会社 創心會まで

#### 当日のスケジュール

- 近隣の集合場所へ集合 / 出発
- 10:30 雄美堂うどん教室着 うどん打ち体験
- 12:00 昼食 (讃岐うどん)
- 13:00 琴平散策
- 15:00 集合 / 出発
- 集合場所へ帰着



## 株式会社 ハートスイッチ ADL 評価モデル事業開始 吉備国際大学にて初講義! 未来の療法士のために。

### 2月18日 ADL 評価モデル講師、吉備国際大学にて初開講

2月18日高梁市吉備国際大学にて、株式会社ハートスイッチの登録評価モデル講師2名の参加する授業が開講されました。作業療法学科の授業で、未来の療法士たちによって5グループ計3時間のアセスメントが行われました。全国的にも珍しい取り組みで、双方にとって実りある時間となりました。



#### Q ADL 評価モデル講師とは?

A ADL評価モデル講師とは、在宅生活をされている障がい者が、自己実現に向けて社会参加をしていくための、数多くある創心會グループの社会参加活動の中の一つです。学生がアセスメントを実施します。

#### Q どんなことをするの?

- 半側空間無視課題
  - かなひろいテスト
  - 入浴動作
  - HDS-R
  - 感覚検査(触覚・痛覚)
  - バランス など
- 病院で行うアセスメントとほぼ同様の内容です。作業療法士同席の元、モデルの体調を確認しながら行われます。



● ADL評価モデル事業に関するお問合せは、株式会社ハートスイッチ(宇野)まで... TEL.086-420-1600 FAX.086-435-7021



心  
創  
心  
創  
心  
創



## 住宅改修から介護食の販売まで 創心會生活環境プランニング

特集 創心會生活環境プランニング  
福祉用具から  
リハビリへアプローチ

- 01 幸せなバレンタインエピソード
- 02 ご利用者様の絵画が絵葉書に
- 03 第5回旅リハ：うどん打ち体験と琴平散策
- 04 ADL 評価モデル

特集 創心會生活環境プランニング

# 福祉用具からリハビリへアプローチ

## 「生活環境プランニング」とは？

私たち「生活環境プランニング」は商品をご注文、ご依頼のままご提供は致しません。一人のご利用者様に対し、療法士・看護師・介護士・ケアマネジャー、そして生活環境プランニングがチームとして、身体機能の評価や、自立に向けたリハビリテーション計画をもとに総合的に判断し、その方に合った住宅改修や福祉用具等のご提案・ご提供をしています。また、ご提案・ご提供後も、商品を導入した環境下での動作確認や介助方法のフォローをしていくことで、実際の生活に繋がっていきます。

## 創心會生活環境プランニングの特徴

創心會生活環境プランニングのコンセプトは、エンパワーメント的環境整備です。エンパワーメントとは、本来は「力をつける」という意味ですが、ご利用者様及び、そのご家族がより内発的な力を持ち、自らの生活を自らコントロールできること、または、自立する力を得ることを指します。つまり、残存機能を使って生活できるように、また、ご家族が介護しやすいように環境を整備し、ご利用者様が「生きる力」を取り戻していける状態を作り出すことがエンパワーメント的環境整備です。私たち生活環境プランニングは、療法士・看護師・介護士・ケアマネジャーと共に行うチームケアにより、ご利用者様が「心豊かな生活を送ることが出来る」ようになる事が私達の目標です。



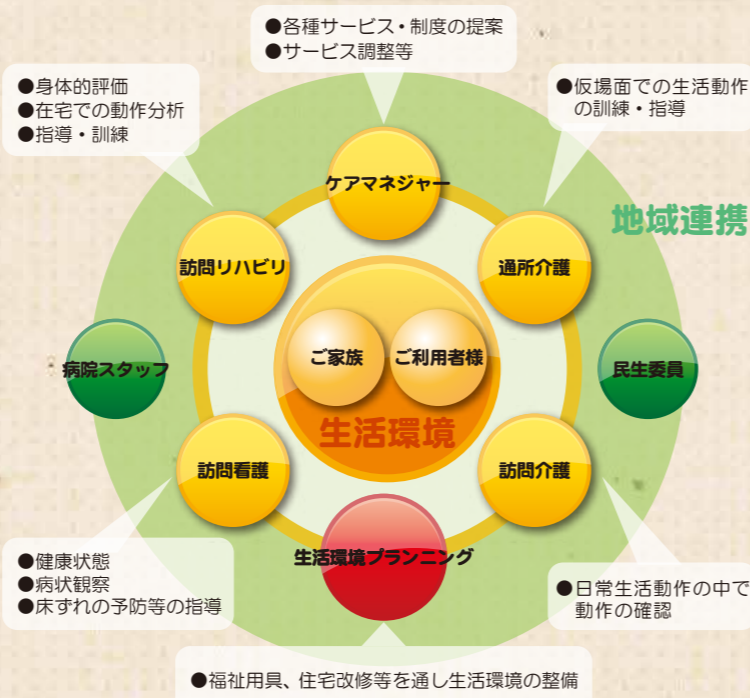
### ☆Y様の場合

以前、他社で住宅改修をされていましたが、手すりまで行く事が出来ず残念ながら活用されていませんでした。訪問リハビリに伺う中で、ご自分でトイレまで行きたい、縁側のイスに座ってゆっくりしたいとご希望をお聞きすることができました。そのご希望をもとにリハビリスタッフと検討を重ね、下図のような改修を行いました。改修後、訪問リハビリによる訓練が行われ、結果、Y様の行動範囲の拡大に繋がりで家族からもご満足いただけました。このケースは、リハビリテーション理論でサービスを提供するチーム連携の良い例です。



今回設置した手すり (Red arrow) / 以前からある手すり (Blue arrow)

## チームケアにおける生活環境プランニングの役割



## チームケアを支える専門職 作業療法士の環境へのこだわり!

作業療法士は生活行為に着目する職種です。実際の生活環境の中で心身状況や動作分析、生活機能を含めた予後予測を行い、どのような環境調整をすればその方の能力が引き出して生活の実践行為が高まっていくのか具体的にアドバイスすることが出来ます。また、調整された環境の中で、生活機能の向上と生活の質的向上のためのフォローを行います。

### ①居室 (ベッドから縁側までの移動)

居室に横手すりを設置。居室に手すりがある事で、縁側まで移動する事ができ、庭を眺めたり、風にあたり気分転換にもなっています。縁側でお食事をされることも。

### ②廊下

以前からある手すりに加えて新たに廊下の柱に出隅の手すりを設置したことで、廊下までの移動がスムーズになりました。仰臥位の状態で右側が引き戸になっている。縦手すりを設置する事でベッドからの立ち上がりや歩行時の支えとなり安全に動作を行う事が出来るようになりました。

### ③トイレ

トイレからの立ち上がりや入り口までの移動を楽にするため、横手すりを設置。以前からある手すりまで行く際も、転倒の不安なく移動する事が出来るようになりました。

# 01

## 創心會グループ会社の取組：バレンタイン企画

# 創心會グループ会社 未来想造舎 和一久の取り組み 幸せを呼ぶチョコレートケーキ

## 感謝の気持ちを込めて。

創心會グループ 未来想造舎和一久 スイーツ部門が提案したバレンタイン企画。今回は「届く気持ち 広がる幸せ シアワセを運ぶチョコレートケーキ」のキャッチコピーでチョコレートケーキを販売しました。スタッフのみならず、ご利用者様にも好評で、素敵なエピソードが現場から届きました。

54歳で脳梗塞の方です。旦那様とはとても仲が良く、感謝の気持ちをケーキに込めました。ハートのプレートには「マサ ヨロシク エリ」と書かれています。脳梗塞の後遺症の為右上肢に麻痺があり、利き手交換を行い字は左手で書かれています。お手帳も左手で書かれ箸のピース握みを手指リハで行っています。このケーキのプレゼントは旦那様にはサプライズで、言いたくて、言いたくて仕方がなかったようですが、当日まで言わずに我慢されていたそうです。どんなデザインにするかなど計画しているときは本当に幸せそうな表情をされ、メッセージはきれいに書けるか心配され、また作っているときはとても真剣な表情をされていました。本当は「これからもよろしく」と書きたかったのですが、書ききれなかったので、佐藤様の写真付きのお手紙と一緒にケーキをお渡しされたそうです。

元気デザイン倶楽部新涯スタッフ



創心會グループが提案したこの企画。こんな素敵なエピソードに出会えて、スタッフも暖かい気持ちに包まれました。



未来想造舎 和へ久 スイーツ部門とは  
障害者自立支援法に基づく就労継続支援の場。未来想造舎和一久には、椎茸の加工・創心會デイサービスへの配食・食器洗浄などの仕事があるが、スイーツ部門は製菓を担当している。社内販売を中心として、2月より本格始動した。

# 02

## ご利用者様の絵画が絵葉書になりました

## はじまりは「創心會大祭り」

昨年の11月に開催された「創心會大祭り」。ご利用者様の自己実現、自己表現、「できる」を外部に発信できる場として大いに盛り上がりました。その中で、ご利用者様による作品展示会には、展示しきれないほど数多くの素晴らしい作品が集まり、米田さんの描く生命力溢れる絵画も多くの方に感動を与えました。実物を見ず、頭の中に思い描く花々を描き出すのが米田さんの絵画スタイル。「無心で制作している時間が好きです。」一筆一筆きれいに色づけしていきます。

## 創心會の公式ポストカードに採用

今日までに米田さんの絵画は、創心會大祭りだけでなく地域の郵便局などにも展示され、多くの方の目に触れてきました。パワーみなぎる米田さんの絵画が欲しいとの声は回を重ねる度に増え、創心會でも是非ポストカードとして使用させて欲しいとオーダー。この度、その完成を迎え晴れて創心會の公式ポストカードとなりました。



▲絵葉書はこの4種を含め、全部で7種類



創心會元気デザイン倶楽部 笹沖 利用 米田 辰宏さん

1953年生まれ。2007年に脳出血を発症、後遺症として右半身マヒと失語症が残る。2010年から創心會元気デザイン倶楽部を利用開始。リハビリの一環として左手で絵を描き始める。「毎日少しづつやる事が、リハビリと訓練に繋がります。心に残るようなものを描くのが夢です。皆様もなんでも良いから、毎日ちょっとづつやってみませんか。」絵画は今や米田さんのライフワークとなっている。